

主催：全国グループホーム団体連合会
第4回全国フォーラムin水戸

メインテーマ

「グループホームの新時代を創ろう！」
～地域密着型サービスとしての5つのミッション～

日時：2016年11月4日（金）10時～17時

会場：茨城県立県民文化センター小ホール

（水戸市千波町東久保697 Tel 029-241-1166）

参加費：3000円



ごあいさつ

このフォーラムは、平成30年の介護保険制度改正を目前にひかえ、グループホーム（認知症対応型共同生活介護）の事業者が果たすべき5つのミッションを議論し、地域包括ケアに必要な不可欠な介護サービスとして、存在価値を高めることができるか、そのために成すべきことは何か、さらに制度の中で、認知症支援の真の切り札としてどう育て上げるのか、徹底的に議論し、その答えを導きだしたいと考えています。

新時代とは、あれもグループホーム、これもグループホームではなく、これがグループホームだという姿を示し、新たな出発をするという意志の表れです。

グループホームの事業者の皆さん、行政や研究者の皆さん、医療や介護関係者、そして介護教育現場の皆さん、ぜひ会場に足を運んで頂き、共にグループホームのこれからのあり方について考えていきましょう。

ご参加を心よりお待ちしております。

主催：全国グループホーム団体連合会 URL <http://gh-japan.net>
E-MAIL contact@gh-japan.net

後援：茨城県、水戸市、（一社）水戸観光協会

グループホームの5つのミッション

1. 認知症による生活の支障に対応し、なじんだ**個々の生活を継続**できる
2. 認知症に対応できる**ケアの専門性を蓄積**して多様な支援ができる
3. 人生の最期まで、**本人らしく暮らしきるための看取りの支援**ができる
4. 地域の認知症ケアの拠点として**地域づくり**を担い、同時に人材を育成する
5. 常に起こり得る災害だからこそ、日頃から備え、**地域における防災拠点**となる

* 詳細はHPに紹介しています

10:00~10:15 オープニングセレモニー

主催者代表挨拶 宮崎 直人 (北海道)

来賓挨拶 茨城県知事・水戸市長



みとちゃん

水の都“千波湖”を望む風景

10:15~10:45 基調報告

1. フォーラム主旨及び5つのミッションについて 林田俊弘(東京都)
2. 実態調査に基づいた制度政策提言 蓬田隆子(宮城県)



10:45~12:35 パネルディスカッションⅠ 進行：井上謙一(群馬県)

テーマ「地域での個々の生活支援」「支援の多様性・多機能性」「看取り」

パネリスト 下川 孝志 (北海道)・・・地域生活の支援

三吉由美子 (三重県)・・・看取り・支援の多様性

竹重 俊文 (長野県)・・・支援の多様性、多機能

コメンテーター 秋山正子氏 (佛ケアーズ白十字訪問看護ステーション 統括部長)

パネルディスカッションは、予めHPで集約した全国からの意見を交えて進めていきます。意見・提案は下記より
URL
<http://gh-japan.net>

13:35~15:25 パネルディスカッションⅡ 進行：大谷るみ子(福岡県)

テーマ 「地域支援・人材育成」「防災」

パネリスト 恩田初男 (群馬県)・・・地域支援・人材育成

森 重勝 (福島県)・・・防災・地域支援

岩尾 貢氏 (社会福祉法人共友会グループホームやたの 理事長)・人材育成

コメンテーター 新田國夫氏(医療法人社団つくし会理事長)

15:35~16:45 まとめと提言のための鼎談

登壇者 厚生労働省認知症・虐待防止対策推進室長 宮腰 奏子氏

全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会副代表 宮島 渡 氏

全国グループホーム団体連合会副代表 林田 俊弘

* 12:35~13:35 昼食・交流・休憩 15:25~15:35 休憩

* 全国グループホーム団体連合会会員は肩書・敬称を省き県名のみとしています